

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和4年 月 日

静岡県知事 川勝平太 殿

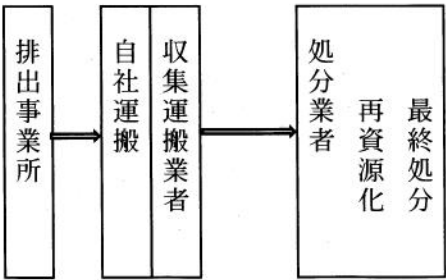
提出者

住 所 静岡県掛川市千浜6141

氏 名 株式会社 若杉組
代表取締役 若杉有城

電話番号 0537-72-2019

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 若杉組
事業場の所在地	静岡県掛川市千浜6141
計画期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合建設業
② 事業の規模	5,403百万円（令和3年度工事高）
③ 従業員数	51人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	 <pre> graph LR A[排出事業所] --> B[自社運搬 / 収集運搬業者] B --> C[処分業者 / 再資源化 / 最終処分] </pre>

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	がら陶・アスガラ・がれき・コンガラ・混廃・汚泥・金属くず・紙くず・蛍光灯・廃プラ・木くず
	排出量	7974.58 t
	(これまでに実施した取組) ○工事現場毎の発生廃棄物種類の把握をし、再資源化施設への搬出をする	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	がら陶・アスガラ・がれき・コンガラ・混廃・汚泥・金属くず・紙くず・蛍光灯・廃プラ・木くず
	排出量	7100 t
	(今後実施する予定の取組) ○受注工事毎、廃棄物内容と排出量が変わるため、適切な再資源化施設への委託をする	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ○可能な限りの廃棄物の種類ごと分別、搬出 ○工程会議等にて確認の徹底 ○社内パトロールにて確認
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ○分別への取り組みの継続 ○工程会議での確認の継続 ○社内パトロールでの確認の継続

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス陶・アスガラ・がれき・コンガラ・混廃・汚泥・金属くず・紙くず・蛍光灯・廃プラ・木くず	
	全処理委託量	7985.58 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	16.25 t	t
	再生利用業者への処理委託量	7958.33 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
○電子マニフェストの利用、正確な種類と数量報告 ○再生利用が可能な業者へ委託する			

②計画	【目標】再生利用の促進 委託後の適切処理の確認	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への処理 委託量	t
	認定熱回収業者への処 理委託量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組) ○再生利用業者への委託継続 ○廃棄物の搬出と種類、処理量の把握 ○委託後の適切処理の確認	
※事務処理欄		